

「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第 101 回

『対話するための必須な素養 ～ 教育の原点 & 実践的な哲学 ～』

イギリス在住の方から「恵泉女学園の大学と高校の卒業式も素晴らしく恵まれた時であったことが感じとれました。創立者河井道、また新渡戸稲造、興夫先生をイザヤ書のみ言葉と合わせ想った時に、涙が出てしまいました。」との心温まるメールが届いた。大いに感動した。また、友納靖史先生（東京都板橋区の常盤台バプテスト教会牧師 & 常盤台めぐみ幼稚園 理事長・園長）から、『先生の励ましの言葉が卒業生の中に見えない種となって成長し続けることを信じております。新渡戸稲造先生の映画！心待ちにしています。to do より to be であることの大切さを知れ(to know)。教育の原点ですよ。』。また、『樋野先生の新渡戸稲造記念病院での勉強会が再開し、部外者も参加可能となりましたらぜひ行かせて頂きたいと願っております。』との励ましのメールを頂いた。2007年からの東久留米市での読書会（画像）以外にも、新渡戸記念中野総合病院でも2020年から新渡戸稲造『武士道』の読書会が開催されている。

今日(2022年3月18日)、先日(3月15日)の『がん哲学外来 メディカル・カフェ@ヨドバシ』に参加された重田稔仁先生（上野の森キリスト教会牧師、JTJ 宣教神学校学長）からは、「先生の飾らない、気負わない佇まいは、人が他者と対話するための必須な素養だと改めて実感しました。」、また、「今日はお忙しいなか面談くださり ありがとうございます。メディカルカフェでの先生のお話しは、教会は元より社会でも中々耳に出来ない内容だと 深く感銘を受けました。特に死体から人の一生を観る先生の人生観に驚きを覚えました。人の悩みを虚しさから見つめる知恵は実践的な哲学と神学に通じるものだと思います。旧約聖書の箴言が教えている知恵です。」とのメッセージを頂いた。

3月は、定年退職、早期退職される方との出会いが多い。今日(2022年3月18日)は、50代で職場を退職される**病理検査技師**に『各年齢の心得』(画像)をプレゼントした。**病理検査**に従事する**検査技師**の第一の仕事は、我々、**病理医**が顕微鏡で診断する染色標本の作製である。『各年齢の心得』は、まさに、「人生の役割意識 & 使命感」の自覚へと導くことであろう。

武士道読書会のお知らせ

新渡戸稲造『武士道』(岩波文庫、矢内原忠雄訳)と内村鑑三『代表的日本人』(岩波文庫、鈴木範久訳)を交互に読み進めております。

リーダーは順天堂大学名誉教授・一般社団法人がん哲学外来理事長で新渡戸稲造記念センター長の樋野興夫先生です。

樋野先生のユニークでわかりやすい解説とさり気なく語られるメッセージに励まされ、人生の生きる意味をあらためて考えるひとときになります。どなたでもご参加いただけます。みなさまの参加をお待ちしております。

～2022年4月から2022年12月までの日程～

毎月・日曜日 15:30～17:00

4月24日 5月22日 6月26日

7月31日 8月21日 9月25日

10月23日 11月27日 12月18日

場 所: 東久留米市 市民プラザ (スペース105)

西武池袋線・東久留米駅西口より 徒歩8分

(東久留米市新川町 1-3-6)



参加費: 100円

※場所は変更がありますので三国まで連絡ください(080-5643-7265)



樋野興夫先生の言葉の処方箋

30代は人にいわれたことをがむしゃらにやれ、

40代で自分の好きなことに専念し、

50代で人の面倒をみる、

60代になっても自分のことしか考えていないなら恥と思え

(樋野先生の恩師・菅野晴夫先生のお言葉より)

2022年1月15日 川口がん哲学カフェいずみ5周年記念講演会にて